

青森県現代俳句協会会報

第17号

第42回弘前俳句大会

11月6日開催された、青森県現代俳句協会が後援している当該大会の結果を本会員を中心にお知らせします。

今回も昨年に続いてコロナ感染拡大のために紙上俳句大会で開催されました。

参加者は125名（高校生6名）でした。

兼題は、A「菊」、B「紅葉」、C「当季雑詠」の三題で行われました。

◇総合成績

①つつる怜、②牧ひろし、③桜田花音、
⑭南美智子

兼題A「菊」

草野力丸選

特選 花と香の至福に酔へし菊花展 牧ひろし

秀逸 紅を差し命拭きこむ菊師かな 油川月萌

兼題B「紅葉」 吉田紅一選

秀逸 檻紅葉太古の空を深くする 桜田花音

竹浪克夫選

特選 チエロの音に高ぶる夜の紅葉かな 三浦星津女

兼題C「当季雑詠」 大瀬響史選

秀逸 妻の墓に杖立てかけて秋夕焼 牧ひろし

秀逸 やさしげな薄時には人を切る 南美智子

秀逸 やはらかな風に影おく秋の蝶 桜田花音

坂本幽玄選

秀逸 やさしげな薄時には人を切る 南美智子

秀逸 秋の暮ひとりで遊ぶ児童館 白鳥青羽

清水雪江選

秀逸 天高し頭の上をミサイルが 大瀬響史

秀逸 国士とは屈辱のこと霧深し 成田唯央

館田五葉選

秀逸 やはらかな風に影おく秋の蝶 桜田花音

秀逸 天高し頭の上をミサイルが 大瀬響史

秀逸 やはらかな風に影おく秋の蝶 桜田花音

秀逸 天高し頭の上をミサイルが 大瀬響史

狛犬の口中赤き冬日向

冬晴れて山の隙間に岩木山

一段一段のぼる石段七五三

志村 唯央

鈴木とまと

小六月湯けむり通り闊歩する

長尾 青竜

人間力をためされてをり落葉山

松宮 梶子

彩失せて身の散り難てに冬紅葉

尾野 久子

亡母と來し銀秋の尾根大鷲路

木村 詩織

桂月の歌碑の落款散る紅葉

正午時の「おおシーハイル」スキーリー

山裾に古き湯の町小春空

足湯して作句しぱタタイ見て小春

志村 肯陽

庭枯るる眉毛の太く仁王様

成田 唯央

脱落す冬麗の茶臼山

冬木立足湯で一句吟行会

初冬の健脚瀬音の足湯

かさこそと多色の落葉つづじ山

山眠るにはまだ早し大鷲線

小春日の仁王剥落眉凜々

天蓋車街を横断冬に入る

佐藤いく子

森下 瞳子

成田 唯央

鈴木とまと

小六月湯けむり通り闊歩する

長尾 青竜

人間力をためられてをり落葉山

松宮 梶子

彩失せて身の散り難てに冬紅葉

尾野 久子

亡母と來し銀秋の尾根大鷲路

木村 詩織

桂月の歌碑の落款散る紅葉

正午時の「おおシーハイル」スキーリー

山裾に古き湯の町小春空

足湯して作句しぱタタイ見て小春

志村 肯陽

庭枯るる眉毛の太く仁王様

成田 唯央

脱落す冬麗の茶臼山

冬木立足湯で一句吟行会

初冬の健脚瀬音の足湯

かさこそと多色の落葉つづじ山

山眠るにはまだ早し大鷲線

小春日の仁王剥落眉凜々

天蓋車街を横断冬に入る

佐藤いく子

森下 瞳子

成田 唯央

